日本感染症学会

「感染症ベーシック・スクール 2025」(関東版) 20250821 (案)

会期:2026年1月11日(日)

会場:大手町プレイスホール&カンファレンス

〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目3番1号 大手町プレイス (イーストタワー)

9:50~10:00 開会式

松本 哲哉(一般社団法人日本感染症学会理事長、国際医療福祉大学)

 $10:00\sim10:30$ 講演 1「感染症診断の臨床アプローチ」

「内容:感染症疑い患者に対する問診・身体所見の取り方、症候からの病原体推定、鑑別診断リストの作成法 を解説する。発熱・咳嗽・発疹などの主要症候から系統的に考え、診断するプロセスを事例と共に紹介し、 、エビデンスに基づく診断戦略を学ぶ。

座長 関 雅文(埼玉医科大学医学部 国際医療センター感染症科・感染制御科)

演者 荒岡 秀樹 (虎の門病院)

10:30~11:00 講演 2「薬剤耐性菌の現状と課題」

内容:世界と日本における薬剤耐性(AMR)の動向と、その実臨床における影響について解説する。耐性 獲得メカニズム、主要な耐性菌(MRSA、ESBL 産生菌、CRE、MDRP等)の特徴と対策、AMR アクショ ンプランの実践について学ぶ。

座長 中村 茂樹 (東京医科大学微生物学分野)

演者 國島 広之(聖マリアンナ医科大学 感染症学講座)

11:00~11:10 【休憩 10 分】

11:10~11:40 講演3「抗菌薬の分類と臨床薬理学」

内容:抗菌薬の系統別特性、作用機序、スペクトラム、PK/PD 理論に基づく投与設計について解説する。 年齢や臓器機能に応じた用量調整、副作用モニタリング、薬物相互作用の臨床的重要性についても学ぶ。

座長 石和田 稔彦 (千葉大学真菌医学研究センター 感染症制御分野)

演者 谷口 俊文(千葉大学医学部附属病院)

11:40~12:10 講演 4 「抗菌薬適正使用プログラムの実際 |

内容:ASP の組織体制と活動内容、介入手法(前向き監査とフィードバック、抗菌薬の事前承認制等)の実施方法と効果について解説する。ASP 実施における課題と解決法、成功事例の分析を通じて自施設での実践につなげる。

座長 吉澤 定子 (東邦大学医学部 臨床検査医学講座 / 微生物・感染症学講座)

演者 堀野 哲也 (東京慈恵会医科大学内科学講座感染症内科)

12:10~13:10 【休憩 60 分】

食事はケータリングを準備して会場内で、主催者側と参加者が懇談しながら食事をできる場を設ける。

13:10~13:40 講演 5「院内感染対策の実践」

内容:ICT の組織と運営、サーベイランス手法、感染対策ラウンドの実施方法について解説する。職業感染 防止策、環境整備、標準予防策と感染経路別予防策の適用基準と実践上の注意点を学ぶ。

座長 藤倉 雄二(北里大学医学部 感染症内科学)

演者 高山 陽子(北里大学医学部附属新世紀医療開発センター 横断的医療領域開発部門 感染制御学)

13:40~14:10 講演6「新興・再興感染症への備え」

内容:世界と日本における新興・再興感染症の動向と将来リスクを概観する。パンデミック時の医療体制整備、初期評価と対応、地域連携のあり方について議論し、感染症危機管理における専門医の役割を考察する。

座長 冲中 敬二 (国立がん研究センター東病院 感染症科)

演者 南宮 湖 (慶應義塾大学医学部感染症学教室)

14:10~11:20 【休憩 10分】

14:20~14:50 ケーススタディディスカッション1「微生物検査の基本と解釈」

内容:グラム染色の実施手順と読影のポイントを実習形式で学ぶ。検体採取のタイミングと方法、検査結果 の臨床的意義と限界について理解を深める。実際の臨床検体画像を用いた判読トレーニングを行い、病原体 の推定と感染症診断への応用力を養成する。

座長 國島 広之(聖マリアンナ医科大学 感染症学講座)

演者 吉澤 定子 (東邦大学医学部 臨床検査医学講座 / 微生物・感染症学講座)

演者 中村 茂樹 (東京医科大学微生物学分野)

$14:50\sim15:20$ ケーススタディディスカッション 2 「臓器別感染症の治療戦略」

内容:呼吸器感染症、尿路感染症、皮膚軟部組織感染症、血流感染症等の主要感染症に対する抗菌薬選択を ケーススタディ形式で実践する。初期治療の考え方、de-escalationの時期と方法、治療期間の設定根拠について議論する。

座長 堀野 哲也 (東京慈恵会医科大学内科学講座感染症内科)

演者 冲中 敬二 (国立がん研究センター東病院 感染症科)

演者 石和田 稔彦 (千葉大学真菌医学研究センター 感染症制御分野)

15:20~15:50 ケーススタディディスカッション3「アウトブレイク対応シミュレーション」

内容:院内感染アウトブレイクのシナリオに基づくロールプレイを行う。初動対応、疫学調査、介入策の立 案、職員・患者・マスコミ対応等を実践的に学び、危機管理能力を養成する。

座長 南宮 湖 (慶應義塾大学医学部感染症学教室)

演者 関 雅文(埼玉医科大学医学部 国際医療センター感染症科・感染制御科)

演者 藤倉 雄二(北里大学医学部 感染症内科学)

15:50~16:00 【休憩 10 分】

16:00~17:00 総合討論・アンケート実施「感染症専門医のめざし方」

内容:これからの感染症医療における専門医の役割について参加者を交えて討論する。修了試験を実施し、 学習内容の定着度を評価する。感染症ベーシック・スクールの学びを各自の臨床現場でいかに活かすかについて考察し、継続的な学習と実践への動機づけを行う。また、今回の講習会に参加した感想等についてアンケートを実施する。

座長 松本哲哉 (国際医療福祉大学医学部感染症学講座)

17:00~17:15 閉会式・修了証授与

松本 哲哉 (一般社団法人日本感染症学会理事長、国際医療福祉大学)